



人々の信仰の姿、こころに迫る 企画展「古墳時代のマジカルワールド」

古墳時代の人々は、山や海、巨岩など自然に対して神まつりを行なう一方、私たちからすると異様とも呼べる巨大な古墳を築いて、死者を葬りました。本展示では、鏡、石製・土製の祭具、古墳に立て並べられた埴輪などの資料を展示し、当時の信仰の姿を紹介します。自然の脅威や人の死に直面した時、どのように祈り、乗り越えようとしたのでしょうか。当時の人々のこころの世界に迫ります。

●会 期 令和3年10月2日(土)～11月21日(日)

午前9時30分より午後5時まで ※入場は午後4時30分まで

プレス展示内覧会・令和3年10月1日(金) 午後2時～午後3時

●会 場 松戸市立博物館 企画展示室

●観 覧 料

	一般	高校・大学生	中学生以下
企画展	310円	150円	無料
常設展共通観覧券	520円	250円	

※11月3日(文化の日)は企画・常設展とも無料

●展示件数 132件(370点)の資料を展示

●展示構成

第I章「神まつりの世界」

山や海、巨岩に対して行われた祭祀を紹介します。巨岩、山や海を見渡せる場所、あるいは峠などでは、祭具が見つかることがあり、当時の人々が自然を祀った跡が見つかっています。こうした痕跡から、人々が何をおそれ、何をねがったかを探ってみます。



左：静岡県天白磐座遺跡

巨岩の周囲で祭祀に関わる遺物が多数出土。



右：木製儀杖(静岡県山ノ花遺跡出土)

河川跡からみつかった木製の儀杖(祭祀用のステッキ)。川で行われた祭祀の痕跡(写真左1点は復元品/展示は右3点)。浜松市博物館所蔵



第II章「古墳と儀礼」

巨大な古墳を舞台にした儀礼を紹介します。古墳には遺体とともに、多くの副葬品が納められました。被葬者の権勢を示す貴重な品もあれば、地域ごとに特色のある品もありました。人間の死とどのように向き合い、どのように乗り越えたのかを考えます。



左上：石枕（千葉県猫作・栗山 16 号墳出土）
成田市立下総歴史民俗資料館所蔵



右上：三角縁四神二獣鏡（神奈川県真土大塚山古墳出土）
東京国立博物館所蔵 Image: TNM Image archives

第III章「埴輪の世界」

古墳に立て並べられた埴輪を紹介します。人間や動物などをかたどった埴輪は、どのような意味がこめられていたのか、当時の人々の世界観にせまっています。他に例のないムササビ形や、非常に珍しい楽器を演奏する人物など、ユニークな造形にもご注目ください。



左上：ムササビ形埴輪（千葉県正福寺 1 号墳出土）
成田市立下総歴史民俗資料館所蔵



右：琴を弾く人物埴輪
（千葉県殿部田 1 号墳出土）
芝山仁王尊・観音教寺所蔵/芝山町立芝山古墳・はにわ博物館保管



やさシティ、まつど。
matsudo

●関連行事

(1) 企画展記念講演会

記念講演会① 「古墳時代の葬送儀礼」

日時：10月30日(土) 13時～15時
会場：松戸市立博物館講堂
講師：東京学芸大学教授・日高 慎 氏

記念講演会② 「筑波山信仰の源流—巨石と水の神まつり—」

日時：11月13日(土) 13時～15時
会場：松戸市立博物館講堂
講師：川村学園女子大学教授・塩谷 修 氏

(2) 学芸員講演会 「古墳時代の祭祀と儀礼」(博物館友の会共催)

日時：11月6日(土) 13時～15時
会場：松戸市立博物館講堂
講師 当館学芸員・小林孝秀

共通 事前申し込み(抽選)、聴講無料、定員各30人

※新型コロナウイルスの感染状況によっては、変更や中止などの場合もあります。

【本件に関する問い合わせ先】

〒271-8588 千葉県松戸市根本387-5

松戸市生涯学習部市立博物館 ☎047-384-8272

FAX 047-384-8194 ✉mchakubutsukan@city.matsudo.chiba.jp